

参加費
無料
(申込必要)

都市計画と‘まち’の行方 ～ 平成から令和へ～

人口増加を前提とした「法」と「制度」によって形づくられてきた日本の都市は、平成の30年間、人口減少への転換と度重なる災害に見舞われ、無秩序な市街地拡大からスポンジ化、そして計画的な縮小へと向かうことを余儀なくされてきました。

近ごろ「平成都市計画史—転換期の30年間が残したもの・受け継ぐもの」を出版された饗庭先生をリモートでお招きし、“もっとも近い過去”の軌跡をたどっていただきながら、都市計画あるいは‘まち’の現在と未来の行方についてお話しいたします。

また、ご講演後には聴講者を交えた質疑・意見交換をオンラインで行い、当地域におけるこれからの都市計画のあり方について、一緒に考えてまいります。

開催日時：令和3年6月16日（水） 14:00～16:30

開催方法：リモート【zoomを使用】のみ（詳しくは裏面参照）

講師：饗庭 伸 教授

東京都立大学都市環境学部 都市政策科学科
都市環境科学研究科 都市政策科学域



平成都市計画史
—転換期の30年間が残したもの・受け継ぐもの
饗庭 伸【著】(2021/02発売)
価格 ¥2,750(本体¥2,500)



1971年兵庫県生まれ。93年、早稲田大学理工学部建築学科卒業。同大学理工学研究科博士課程を経て博士(工学)取得。同大学助手を経て、2000年、東京都立大学工学部助手、17年、首都大学東京都市環境科学研究科都市システム科学域教授に就任、現在に至る。専門は、都市計画・まちづくり・市民参加。主な著書として、「素が出るワークショップ: 人とまちへの視点を変える22のメソッド」(学芸出版社、2020年)、「都市をたたむ」(花伝社、2015年)など、多数。

プログラム

14:00	開会
14:05～15:25	基調講演 「都市計画と‘まち’の行方」 ー平成都市計画史をふりかえりながらー 講師：饗庭 伸 教授 東京都立大学都市環境学部 都市政策科学科 都市環境科学研究科 都市政策科学域
15:25～15:30	休憩
15:30～16:25	オンラインディスカッション 聴講者の皆さんと饗庭先生で、ご講演に対する質疑応答、それぞれのまちで抱えている都市計画・既成市街地の課題やあり方について、ざっくばらんに意見交換を行います。
16:30	閉会予定

申込フォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S67999237/>



上記リンク等から必要事項を記入して、

6月14日(月)17:00までにお申し込み下さい。

- 一団体あたりの申込者数に制限はありませんが、参加人数を把握するため同席（一緒に聴講する方）人数をご記入ください。
- 6月15日(火)にリモート会議システム(zoom)のIDとパスワードをメールにて送付します。
- ご記入いただいた個人情報は、本研究会に関する運営・情報提供についてのみ使用させていただきます。

必要事項

お名前※
会社名・団体名及び所属部署※
役職名
同席（一緒に聴講する方）人数【おひとりの場合は記入不要】
メールアドレス※
電話番号(ご連絡先)※

※:必須項目

問い合わせ先

tel:052-232-0022

mail: kawakita@chimonken.or.jp

一般社団法人 地域問題研究所 河北